

七飯町地域公共交通計画（案）等でいただいたご意見について

● P 2 5 本文

・流出人口 7, 3 5 9 人、流入人口 3, 3 7 3 人とは各表のどの数字でしょうか（流出人口 = 7, 6 0 2 人、流入人口 = 3, 6 5 3 人ではないでしょうか）。

● P 2 8 本文

・大沼交通も本文に記載すべきと考えます。

● P 2 9

・高速はこだて号の運行主体を正確に記載すべきと考えます（中央バス、道南バス、北都交通、函館バス）。

・北海道バスと北海道観光バスが共同運行している函館特急ニュースター号も記載すべきと考えます。

● P 3 3 本文・表 3 - 5

・北海道バスと北海道観光バスが共同運行している函館特急ニュースター号も記載すべきと考えます。

● P 7 5 表 6 - 1

・指標④

公的資金投入額は交通事業者ではなく七飯町からのデータ提供ではないでしょうか。

・指標⑥

毎年調査を実施し、目標も毎年設定すべきと考えます。

ご意見いただきました上記の点につきまして、次のとおりご回答させていただきます。

● P 2 5 本文

・流出人口 7, 3 5 9 人、流入人口 3, 3 7 3 人とは各表のどの数字でしょうか（流出人口 = 7, 6 0 2 人、流入人口 = 3, 6 5 3 人ではないでしょうか）。

ご意見いただきましたとおり、本文中の人数が誤っておりましたので、下記のとおり修正させていただきました。

修正前	修正後
<p>七飯町常住者のうち、町内で就業・通学する方が 5,983 人、他市町村で就業・通学する方（流出人口）が <u>7,359 人</u> となっており、七飯町の就業・通学者の半数以上が他市町村で就業・通学している状況となっています。</p> <p>また、他市町村から七飯町への就業・通学者（流入人口）は <u>3,373 人</u> となっており、流出人口が上回る状況となっています。</p>	<p>七飯町常住者のうち、町内で就業・通学する方が 5,983 人、他市町村で就業・通学する方（流出人口）が <u>7,602 人</u> となっており、七飯町の就業・通学者の半数以上が他市町村で就業・通学している状況となっています。</p> <p>また、他市町村から七飯町への就業・通学者（流入人口）は <u>3,653 人</u> となっており、流出人口が上回る状況となっています。</p>

● P 2 8 本文

- ・大沼交通も本文に記載すべきと考えます。

ご意見いただきましたとおり、下記のとおり修正させていただきました。

修正前	修正後
七飯町の公共交通は JR のほか、函館バス、都市間高速バスが運行しています。公共交通のほとんどが、幹線道路を中心とした運行となっています。	七飯町の公共交通は JR のほか、函館バス、都市間高速バス、 <u>大沼交通</u> が運行しています。公共交通のほとんどが、幹線道路を中心とした運行となっています。

● P 2 9

- ・高速はこだて号の運行主体を正確に記載すべきと考えます（中央バス、道南バス、北都交通、函館バス）。

ご意見いただきましたとおり、下記のとおり修正させていただきました。

修正前	中央バス 道南バス	■	高速はこだて号	自	札幌駅前バスターミナル	上	8 便	355 分
				至	湯の川温泉東	下	8 便	360 分
修正後	中央バス 道南バス <u>北都交通</u> <u>函館バス</u>	■	高速はこだて号	自	札幌駅前バスターミナル	上	8 便	355 分
				至	湯の川温泉東	下	8 便	360 分

- ・北海道バスと北海道観光バスが共同運行している函館特急ニュースター号も記載すべきと考えます。

函館と札幌の間を結ぶ高速バス路線であります函館特急ニュースター号につきましては、平成 3 1 年 4 月に大沼プリンスホテル内の停留所が廃止となり、七飯町内の停留所がないことから、記載する必要はないと考えますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

● P 3 3 本文・表 3 - 5

- ・北海道バスと北海道観光バスが共同運行している函館特急ニュースター号も記載すべきと考えます。

函館と札幌の間を結ぶ高速バス路線であります函館特急ニュースター号につきましては、平成 3 1 年 4 月に大沼プリンスホテル内の停留所が廃止となり、七飯町内の停留所がないことから、記載する必要はないと考えますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

● P 7 5 表 6 - 1

・指標④

公的資金投入額は交通事業者ではなく七飯町からのデータ提供ではないでしょうか。
ご意見いただきましたとおり、下記のとおり修正させていただきました。

修正前	④	新たな移動支援事業への公的資金投入額	千円/年度	-	町内交通の拡充を図る予定があるため、動向を踏まえながら公的資金投入額を記載	交通事業者からのデータ提供
修正後	④	新たな移動支援事業への公的資金投入額	千円/年度	-	町内交通の拡充を図る予定があるため、動向を踏まえながら公的資金投入額を記載	七飯町地域公共交通活性化協議会事務局で把握

・指標⑥

毎年調査を実施し、目標も毎年設定すべきと考えます。

推奨指標⑥公共交通を数か月に1日以上利用する頻度について、公共交通利用者数の確保・維持の観点から設定しており、令和3年度に実施したアンケート調査の結果を現況値としております。当指標に関しては、本計画案で設定した施策の効果が表れるまでに時間を要することから、ご提案させていただきましたとおり、5年後の計画を見直す際に住民アンケート調査を実施する設定とさせていただきたいと考えておりますので、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

大沼地区に関しては、停留所まで歩くのが大変なので、戸口から戸口までの送り迎えや年金を下ろしに郵便局へ行く、コンビニに行くのも、不便なので、買物バスなどを利用できるようにしたいと思います。

大沼地区については、日常生活の足の確保が必要な方や本町市街地までの比較的に長距離の移動手段の確保に向けて、ご意見いただきました買物バスなどを含めて、本計画案に基づき、検討・実施してまいりますので、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

福祉有償運送事業者のなかに、目的以外の輸送をしていることがある。全国各地で裁判になっているので、指導をよろしく願います。
町内ハイヤー事業者の利用者数は、実証実験から実運行になった場合の数値を入れるべきではないか。

ご意見いただきました上記の点につきまして、次のとおりご回答させていただきます。

福祉有償運送事業者のなかに、目的以外の輸送をしていることがある。全国各地で裁判になっているので、指導をよろしく願います。

福祉有償運送について、本計画案の作成過程において運営や運行状況などを関係者からヒアリングしております。

目的以外の輸送をしていることがあるので、指導をよろしく願いますとのご意見につきましては、福祉有償運送の適正な運営の確保のために必要となる事項を協議するために設置されている七飯町福祉有償運送運営協議会と連携し、情報共有を図ってまいりたいと考えますので、ご理解いただきますようよろしく願います。

町内ハイヤー事業者の利用者数は、実証実験から実運行になった場合の数値を入れるべきではないか。

指標②町内ハイヤー事業者の利用者数について、本指標は公共交通利用者数を確保・維持する観点から、既存で運行されている町内ハイヤー事業者の利用者数について設定しており、本指標とは別に、指標⑤地域内フィーダー系統の利用者数について、系統間での円滑な接続を確保する観点から、ハイヤー運賃負担軽減策や藤城・峠下地区及び大沼地区から本町市街地までの継続的な移動手段を確保するための施策といった今後想定している新たな移動支援の利用者数について設定しております。

ご意見いただきましたとおり、新たな移動支援の実証実験及び本格的な実運行になった場合の利用者数は、持続的な施策の実施を目指すに当たって、非常に重要であり、指標⑤の中で設定させていただきたいと考えておりますので、ご理解いただきますようよろしく願います。